

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

がん患者の「家族に対する負担」の認識とその背景に関する分析

研究分担者 若尾 文彦 国立がん研究センターがん対策研究所 事業統括
研究分担者 高山 智子 国立がん研究センターがん対策研究所 がん情報提供部

研究要旨

目的：本研究では、平成30年に実施された患者体験調査をもとに、「がんになったことで家族に負担（迷惑）をかけている」と回答した者が、どのような背景の場合に特に多いのかを明らかにすることを目的とした。

方法：平成30年に行われた患者体験調査の回答者のうち患者本人が記入した5198名を対象に分析を行った。「がんになったことで家族に負担（迷惑）をかけている」の設問に対して、「そう思わない」～「とてもそう思う」の5段階の回答選択肢をもとに、対象者の属性（性別、年代、治療の有無、受けた治療の種類、現在の治療状況、入院および転院の有無、就業の有無）と患者の医療関連サービスに対する認識および診療上の体験・評価について、医療関連サービス・支援の認識（7項目）、治療中の体験（9項目）、受けた医療全般に対する評価（3項目）の背景要因との2変数間での関連を検討した。また「がんになったことで家族に負担（迷惑）をかけている」に対して「とてもそう思う」と回答した者に関連する要因を、多重ロジスティック回帰分析により検討した。

結果および考察：対象者の背景属性では、就業とは関連がみられなかったものの、若年層でより家族に負担をかけたとする人が多く、治療関連の変数においても現在治療中や複数の治療を行っている、入転院の体験があるなど、対象者本人の治療に関わる要因がある場合に、有意に家族に対する負担があるという回答を多くする結果であった。また医療関連サービスの利用や診療上の肯定的な評価をしている者で、より家族に対する負担があると回答する結果であった。患者本人の“負担がより大きくなる状況”そのものが反映していることが示唆された。医療関連サービスを利用していない人で、どのような背景要因との関連があるのか、今後さらにサブ解析等をすすめることも重要であると考えられた。

結論：がん患者の家族に対する認識については、環境の影響を受けるとも考えられ、社会の状況や情勢、世論と合わせて引き続き検討していくことが重要である。

A. 研究目的

平成28年（2016年）12月に「改正がん対策基本法」（厚生労働省、2016）が成立した。「改正がん対策基本法」に新たに加えられた内容には、患者のみならず“家族”を対象に含めることや、患者の状況に応じた必要な支援を総合的に受けられるようになることが、がん患者が尊厳を保持しつつ安心して暮らすことができることが、目指す姿としてさらに強調された。その中で、患者の“家族”に関する施策は、がん対策基本計画の中で、患者と並んでQOLの向上や苦痛の軽減、情報提供など、施策の各所で触れられている。しかし、平成30年（2018年）にがんを診断された約2万人を対象として実施された患者体験調査では、「がんになったことで家族に負担（迷惑）をかけている」と感じる割合は約5割と高く、また「家族の悩みや負担をやわらげる支援がある」と感じる患者は約5割のみと低い値となっていた。これらは、平成28年（2016年）に実施された同調査と比較して改善が見られずに推移している状況である。また一般市民を対象として定期的に行われているがんの世論調査では、「がんをこわい」理由にあげられた「がんの治療や療養には、家族や親しい友人などの負担をかける場合があるから」は、ここ数年「がんで死に至る場合があるから」に次いで第二位と、「痛みや症状があるから」を上回る理由としてあげられている（令和2年7月世論調査、内閣府）。

そこで本研究では、平成30年に実施された患者体

験調査をもとに、「がんになったことで家族に負担（迷惑）をかけている」と回答した者が、どのような背景で特に多いのかを明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

がん診療連携拠点病院を受診した患者を対象に平成30年に行われた患者体験調査の回答者のうち、患者本人が記入したと回答し、「がんになったことで家族に負担（迷惑）をかけている（以下、「家族に負担をかけた」とする）」の設問に回答している5198名を対象に分析を行った。（患者体験調査のサンプリング等の詳細については、「患者体験調査報告書平成30年度調査」厚生労働省委託事業 国立がん研究センターがん対策情報センター令和2年10月を参照。）

本研究で検討を行う「がんになったことで家族に負担（迷惑）をかけている」の設問は、「そう思わない」～「とてもそう思う」の5段階の回答選択肢が設けられている。以下にあげる背景要因との2変数間での関連を検討したのち、「とてもそう思う」と回答した者に関連する要因について、多重ロジスティック回帰分析により検討を行った。

対象者の属性は、性別、年代、治療の有無、受けた治療の種類、現在の治療状況、入院および転院の有無、就業の有無について把握した。

患者の医療関連サービスに対する認識および診療上の体験・評価については、今回の患者体験調査で測定された医療関連サービス・支援の認識（7項目）、治療中の体験（9項目）、受けた医療全般に対する評価（3項目）について検討を行った。

<医療関連サービス・支援の認識>

- 1) 相談支援センターの認知
- 2) 相談支援センターの利用(知っている人のうち)
- 3) 相談支援センターの認知と利用状況
- 4) ピアサポートの認知
- 5) ピアサポートの利用(知っている人のうち)
- 6) ピアサポートの認知と利用状況
- 7) がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービスが十分ある

<治療中の体験>

- 8) 治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた
- 9) 治療による副作用の予測などに関して見通しを持てた
- 10) がん治療を進める上で、医療スタッフと十分な対話ができる
- 11) 医療スタッフは、あなたの言葉に耳を傾け、理解しようとしてくれた
- 12) 治療におけるあなたの希望は尊重された
- 13) つらい症状にはすみやかに対応してくれた
- 14) あなたのことにに関して治療に関係する医療スタッフ間で十分に情報が共有されていた
- 15) 主治医以外にも相談しやすい医療スタッフがいた
- 16) 最初の治療を受けて退院するまでに、生活上の留意点について医療スタッフから十分な情報を得ることができた

<受けた医療全般に対する評価>

- 17) あなたのがんにに関して専門的な医療を受けられた
- 18) これまで受けた治療に納得している
- 19) 今回のがんの診断・治療全般の総合評価（10点満点/4段階に再分類）

なお、本分析は、調査設計をもとに母集団分布を代表する重み付けを行う前の予備的検討として実施した。

（倫理面への配慮）

本研究で扱うデータについては、国立がん研究センター倫理審査委員会において審査され、承認された患者体験調査（成人、小児）の研究計画に基づき行っている。

C. 研究結果

本研究の分析対象者全体で、「家族に負担をかけた」について「とてもそう思う」は、全体の1/4を超え、「ある程度そう思う」の2つの回答選択肢で約

半数となっていた。

1. 対象者の背景属性と「家族に負担をかけた」の回答分布（表1）

対象者の背景属性および「家族に負担をかけた」に関する分布を表1に示した。対象者の属性と「家族に負担をかけた」との関連では、就業の有無を除くすべてにおいて、有意な分布の違いが見られた。また年齢が若い場合、治療あり、受けた治療の種類が複数ある、現在治療中、入院・転院があった場合に、「家族に負担をかけた」と回答する人が有意に多かった。

2. 医療関連サービス・支援と「家族に負担をかけた」の回答分布（表2）

医療関連サービス・支援の認識状況および「家族に負担をかけた」に関する2変数間の分布を表2に示した。医療関連サービス・支援の認識状況と「家族に負担をかけた」との関連では、ピアサポートの認識に関わる項目を除くすべてにおいて、有意な分布の違いが見られた。また相談支援センターを知っている、利用した、および知っていて利用した人、ピアサポートを知っている、知っていて利用した人で、「家族に負担をかけた」と回答する人が有意に多かった。

3. 対象者の治療中の体験、受けた医療全般に対する評価と「家族に負担をかけた」の回答分布（表3）

対象者の治療中の体験、受けた医療全般に対する評価と「家族に負担をかけた」との関連では、すべての項目で、有意な分布の違いがみられた。また、「8）治療スケジュールに関する見通し」「9）副作用の予測などの見通し」「18）これまでに受けた治療に納得」「19）治療全般の総合評価」について「そう思わない」と回答した人で、「家族に負担をかけた」と回答する人が多く、「13）つらい症状にすみやかに対応」「15）主治医以外にも話しやすいスタッフがいた」と回答した者で、「家族に負担をかけた」ことに「そう思わない」と回答するという有意な関連が見られた。

4. 医療関連サービスの認識および治療中の体験・受けた医療全般に対する評価と「家族に負担をかけた」の回答との関連（多重ロジスティック回帰分析）（表4）

「家族に負担をかけた」の回答は、<医療関連サービス・支援>では、「2）相談支援センターを利用した人」、「3）知っていて利用した人」で多いという結果であった。また<治療中の体験>では、「11）医療者が理解しようとしてくれた」「13）つらい症状に速やかに対応」「15）主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた」場合に多く、<受けた医療全般に対する評価>では、「17）専門的な医療を受けられた」場合に多いという結果であった。

D. 考察

対象者の背景属性では、就業とは関連がみられなかったものの、若年層でより家族に負担をかけたとする人が多く、治療関連の変数においても現在治療中や複数の治療を行っている、入転院があるなど、対象者本人の治療に関わる“負担がより大きくなる状況”そのものが家族に対する負担感にも反映していると考えられた。

また患者の医療関連サービスに対する認識および診療上の体験・評価についても、当初の予測とは反して、医療関連サービスを知っていて、利用している人が、また治療中の医療スタッフに対する評価が高い人が、より家族に負担をかけていると回答する傾向にあった。本研究は、横断的な調査であるため、（背景属性との関連にも見られた）対象者本人の治療に関わる“負担がより大きくなる状況”そのものが、家族に負担をかけると感じられること、またこうした状況により、自らが医療者や既存のサービスに支援を求めることで、医療者に対する評価や体験そのものも肯定的に受け取られているとも考えられる。今回は全体での検討であったが、医療関連サービスを利用していない人で、どのような背景要因との関連があるのか、さらに検討することが必要であろう。これにより、医療現場やがん対策上の家族に対する負担軽減の改善策がみつかるかもしれない。

今回患者体験調査で尋ねた「家族に負担（迷惑）をかけたと思う」については、ある意味、家族がいれば当然とも言える設問でもある。通常以上に負担と思うことは避けなければならないが、家族を含め周囲の人に過度に負担や迷惑をかけてはいけない、といった風潮そのものが、がん患者の体験をさらに苦しめている可能性も否めない。一般市民を対象として定期的に実施されているがんの世論調査においても、「がんをこわい」理由にあげられた「がんの治療や療養には、家族や親しい友人などの負担をかける場合があるから」は、ここ数年「がんで死に至る場合があるから」に次いで第二位と、「痛みや症状があるから」を上回る理由としてあげられている（令和2年7月世論調査、内閣府）。このように、がん患者の家族に対する認識については、環境により変化していくとも考えられ、社会の状況や情勢、世論と合わせて引き続き検討していくことが重要であると考えられる。

E. 結論

本研究では、患者体験調査をもとに、どのような背景の場合に、「がんになったことで家族に負担（迷惑）をかけている」と回答するのかを明らかにし、今後の家族に関するがん施策に対する示唆を得ることを目的に検討を行った。その結果、対象者本人の治療に関わる“負担がより大きくなる状況”そのものが、反映している可能性が示唆された。医療関連

サービスを利用していない人で、どのような背景要因との関連があるのか、今後さらにサブ解析等をするすることも重要であると考えられる。がん患者の家族に対する認識については、環境の影響を受けるとも考えられ、社会の状況や情勢、世論と合わせて引き続き検討していくことが重要である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

高山智子、市瀬雄一、渡邊ともね、東 尚弘. がん診療連携拠点病院がん相談支援センターの利用状況と医療の質との関連に関する研究. 第81回日本公衆衛生学会総会（山梨）2022年10月9日.

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表1. 対象者の属性と「家族に負担をかけた」に関する回答分布 (n=5198)

<対象者の属性>	「家族に負担をかけた」の回答												P	r ¹⁾	P
	全体 (n=5198)		そう思わない (n=881)		どちらともいえない (n=457)		ややそう思う (n=1292)		ある程度そう思う (n=1246)		とてもそう思う (n=1322)				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
性別													0.0003	-0.0167	0.2286
男性	2546	49.0	415	16.3	209	8.2	618	24.3	680	26.7	624	24.5			
女性	2642	50.8	463	17.5	248	9.4	670	25.4	563	21.3	698	26.4			
不明	10	0.2													
年代													<.0001	-0.0807	<.0001
20代・30代	454	8.7	46	10.1	31	6.8	103	22.7	93	20.5	181	39.9			
40代	507	9.8	69	13.6	40	7.9	115	22.7	113	22.3	170	33.5			
50代	601	11.6	93	15.5	54	9.0	159	26.5	124	20.6	171	28.5			
60代	1267	24.4	242	19.1	139	11.0	313	24.7	308	24.3	265	20.9			
70代	1457	28.0	287	19.7	121	8.3	361	24.8	371	25.5	317	21.8			
80代以上	463	8.9	66	14.3	32	6.9	115	24.8	141	30.5	109	23.5			
不明	449	8.6													
治療													0.0198	0.04319	0.0019
治療なし	53	1.0	16	30.2	4	7.6	16	30.2	12	22.6	5	9.4			
治療あり	5113	98.4	858	16.8	449	8.8	1268	24.8	1231	24.1	1307	25.6			
不明	32	0.6													
受けた治療の種類													<.0001	0.1347	<.0001
手術または内視鏡治療のみ	1861	35.8	385	20.7	182	9.8	489	26.3	438	23.5	367	19.7			
手術または内視鏡治療+1種類	1558	30.0	270	17.3	148	9.5	364	23.4	373	23.9	403	25.9			
手術または内視鏡治療+2種類以上	853	16.4	98	11.5	60	7.0	220	25.8	197	23.1	278	32.6			
手術・内視鏡なし+1種類	534	10.3	67	12.6	33	6.2	137	25.7	143	26.8	154	28.8			
手術・内視鏡なし+2種類以上	258	5.0	31	12.0	23	8.9	46	17.8	69	26.7	89	34.5			
不明	134	2.6													
現在の治療状況													<.0001	0.10797	<.0001
治療終了 通院終了	385	7.4	107	27.8	39	10.1	71	18.4	101	26.2	67	17.4			
治療終了 経過観察で通院	3462	66.6	594	17.2	320	9.2	892	25.8	826	23.9	830	24.0			
治療中	1202	23.1	144	12.0	85	7.1	289	24.0	289	24.0	395	32.9			
治療していない	48	0.9	15	31.3	3	6.3	13	27.1	13	27.1	4	8.3			
その他	6	0.1	0	0.0	0	0.0	2	33.3	2	33.3	2	33.3			
不明	95	1.8													
入院の有無													<.0001	0.06888	<.0001
ない	1316	25.3	276	21.0	105	8.0	327	24.9	323	24.5	285	21.7			
ある	3631	69.9	535	14.7	322	8.9	914	25.2	860	23.7	1000	27.5			
不明	251	4.8													
がん治療が始まってからの転院の有無													0.0143	0.04357	0.0022
ない	4280	82.3	713	16.7	379	8.9	1080	25.2	1027	24.0	1081	25.3			
ある	654	12.6	96	14.7	47	7.2	157	24.0	148	22.6	206	31.5			
不明	264	5.1													
就業の有無 (診断時)													0.3841	-0.0135	0.3329
あり	2832	54.5	462	16.3	255	9.0	715	25.3	659	23.3	741	26.2			
なし	2319	44.6	407	17.6	200	8.6	570	24.6	574	24.8	568	24.5			
不明	47	0.9													

1) Spearman's 相関係数

表2. 対象者の医療関連サービス・支援の認識状況と「家族に負担をかけた」に関する回答分布 (n=5198)

	全体 (n=5198)		「家族に負担をかけた」の回答										P	r ¹⁾	P
			そう思わない (n=881)		どちらともいえない (n=457)		ややそう思う (n=1292)		ある程度そう思う (n=1246)		とてもそう思う (n=1322)				
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%			
<対象者の属性>															
相談支援センターの認知															
知っている	3551	68.3	539	15.2	297	8.4	894	25.2	882	24.8	939	26.4	<.0001	0.0716	<.0001
知らない	1588	30.6	329	20.7	159	10.0	387	24.4	349	22.0	364	22.9			
不明	59	1.1													
相談支援センターの利用(知っている人のうち)													0.0004	0.0707	<.0001
利用しなかった	3057	58.8	475	15.5	261	8.5	789	25.8	756	24.7	776	25.4			
利用した	458	8.8	56	12.2	34	7.4	94	20.5	116	25.3	158	34.5			
不明	1683	32.4													
相談支援センターの認知と利用状況													<.0001	0.0894	<.0001
知らなかった/利用しなかった	1588	30.6	329	20.7	159	10.0	387	24.4	349	22.0	364	22.9			
知っていた/利用しなかった	3057	58.8	475	15.5	261	8.5	789	25.8	756	24.7	776	25.4			
知っていた/利用した	458	8.8	56	12.2	34	7.4	94	20.5	116	25.3	158	34.5			
不明	95	1.8													
ピアサポートの認知													0.0508	0.0291	0.038
知っている	1396	26.9	210	15.0	110	7.9	359	25.7	360	25.8	357	25.6			
知らない	3713	71.4	653	17.6	344	9.3	922	24.8	859	23.1	935	25.2			
不明	89	1.7													
ピアサポートの利用(知っている人のうち)													0.6849	0.0265	0.323
利用しなかった	1296	24.9	195	15.1	105	8.1	335	25.9	336	25.9	325	25.1			
利用した	98	1.9	15	15.3	5	5.1	24	24.5	24	24.5	30	30.6			
不明	3804	73.2													
ピアサポートの認知と利用状況													0.1703	0.0293	0.037
知らなかった/利用しなかった	3713	71.4	653	17.6	344	9.3	922	24.8	859	23.1	935	25.2			
知っていた/利用しなかった	1296	24.9	195	15.1	105	8.1	335	25.9	336	25.9	325	25.1			
知っていた/利用した	98	1.9	15	15.3	5	5.1	24	24.5	24	24.5	30	30.6			
不明	91	1.8													
がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分ある													<.0001	-0.017	0.226
そう思わない	364	7.0	47	12.9	16	4.4	99	27.2	69	19.0	133	36.5			
どちらともいえない	990	19.0	150	15.2	115	11.6	240	24.2	229	23.1	256	25.9			
ややそう思う	1175	22.6	192	16.3	122	10.4	336	28.6	275	23.4	250	21.3			
ある程度そう思う	1672	32.2	269	16.1	141	8.4	411	24.6	448	26.8	403	24.1			
とてもそう思う	630	12.1	138	21.9	38	6.0	137	21.8	135	21.4	182	28.9			
不明	367	7.1													

1) Spearman's 相関係数

表3. 対象者の治療中の体験および評価と「家族に負担をかけた」に関する回答分布

	全体 (n=5198)		「家族に負担をかけた」の回答										P	r ¹⁾	P		
	n	%	そう思わない (n=881)		どちらともいえない (n=457)		ややそう思う (n=1292)		ある程度そう思う (n=1246)		とてもそう思う (n=1322)						
			n	%	n	%	n	%	n	%	n	%					
<治療中の体験>																	
治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた															<.0001	-0.04441	0.0021
そう思わない	126	2.4	16	12.7	8	6.4	28	22.2	26	20.6	48	38.1					
どちらともいえない	305	5.9	32	10.5	31	10.2	83	27.2	77	25.3	82	26.9					
ややそう思う	676	13.0	88	13.0	60	8.9	211	31.2	145	21.5	172	25.4					
ある程度そう思う	2080	40.0	293	14.1	200	9.6	541	26.0	527	25.3	519	25.0					
とてもそう思う	1598	30.7	352	22.0	112	7.0	352	22.0	365	22.8	417	26.1					
無回答	413	7.9															
治療による副作用の予測などに見通しを持てた															<.0001	-0.04894	0.0008
そう思わない	272	5.2	48	17.7	19	7.0	57	21.0	56	20.6	92	33.8					
どちらともいえない	481	9.3	59	12.3	54	11.2	114	23.7	107	22.3	147	30.6					
ややそう思う	955	18.4	112	11.7	88	9.2	291	30.5	221	23.1	243	25.5					
ある程度そう思う	1975	38.0	296	15.0	170	8.6	520	26.3	533	27.0	456	23.1					
とてもそう思う	1010	19.4	235	23.3	71	7.0	214	21.2	212	21.0	278	27.5					
無回答	505	9.7															
がん治療を進める上で、医療スタッフと十分な対話があった															<.0001	-0.00898	0.5351
そう思わない	172	3.3	26	15.1	16	9.3	44	25.6	32	18.6	54	31.4					
どちらともいえない	419	8.1	47	11.2	45	10.7	117	27.9	95	22.7	115	27.5					
ややそう思う	931	17.9	129	13.9	83	8.9	279	30.0	203	21.8	237	25.5					
ある程度そう思う	1812	34.9	277	15.3	164	9.1	460	25.4	483	26.7	428	23.6					
とてもそう思う	1437	27.6	289	20.1	101	7.0	310	21.6	329	22.9	408	28.4					
無回答	427	8.2															
医療スタッフは、あなたの言葉に耳を傾け、理解しようとしてくれた															<.0001	0.01868	0.1972
そう思わない	118	2.3	20	17.0	5	4.2	20	17.0	26	22.0	47	39.8					
どちらともいえない	327	6.3	36	11.0	43	13.2	104	31.8	66	20.2	78	23.9					
ややそう思う	845	16.3	126	14.9	82	9.7	249	29.5	204	24.1	184	21.8					
ある程度そう思う	1766	34.0	259	14.7	162	9.2	465	26.3	451	25.5	429	24.3					
とてもそう思う	1710	32.9	329	19.2	118	6.9	370	21.6	396	23.2	497	29.1					
無回答	432	8.3															
治療におけるあなたの希望は尊重された															<.0001	-0.00386	0.79
そう思わない	82	1.6	12	14.6	7	8.5	23	28.1	11	13.4	29	35.4					
どちらともいえない	295	5.7	33	11.2	28	9.5	78	26.4	70	23.7	86	29.2					
ややそう思う	785	15.1	103	13.1	83	10.6	234	29.8	188	24.0	177	22.6					
ある程度そう思う	1821	35.0	261	14.3	164	9.0	495	27.2	459	25.2	442	24.3					
とてもそう思う	1770	34.1	355	20.1	127	7.2	377	21.3	411	23.2	500	28.3					
無回答	445	8.6															
つらい症状にはすみやかに対応してくれた															<.0001	0.0293	0.0443
そう思わない	100	1.9	19	19.0	6	6.0	22	22.0	20	20.0	33	33.0					
どちらともいえない	271	5.2	36	13.3	30	11.1	84	31.0	48	17.7	73	26.9					
ややそう思う	723	13.9	93	12.9	78	10.8	218	30.2	164	22.7	170	23.5					
ある程度そう思う	1700	32.7	248	14.6	161	9.5	468	27.5	426	25.1	397	23.4					
とてもそう思う	1920	36.9	351	18.3	133	6.9	407	21.2	475	24.7	554	28.9					
無回答	484	9.3															
あなたのことに関して治療に関係する医療スタッフ間で十分に情報が共有されていた															<.0001	-0.00941	0.5173
そう思わない	129	2.5	18	14.0	6	4.7	30	23.3	21	16.3	54	41.9					
どちらともいえない	376	7.2	56	14.9	37	9.8	100	26.6	79	21.0	104	27.7					
ややそう思う	895	17.2	119	13.3	97	10.8	255	28.5	214	23.9	210	23.5					
ある程度そう思う	1879	36.1	264	14.1	161	8.6	517	27.5	482	25.7	455	24.2					
とてもそう思う	1459	28.1	304	20.8	104	7.1	299	20.5	337	23.1	415	28.4					
無回答	460	8.8															
主治医以外にも相談しやすい医療スタッフがいた															<.0001	0.06582	<.0001
そう思わない	574	11.0	112	19.5	41	7.1	155	27.0	121	21.1	145	25.3					
どちらともいえない	798	15.4	114	14.3	86	10.8	236	29.6	188	23.6	174	21.8					
ややそう思う	873	16.8	122	14.0	88	10.1	241	27.6	200	22.9	222	25.4					
ある程度そう思う	1375	26.5	220	16.0	134	9.8	344	25.0	357	26.0	320	23.3					
とてもそう思う	1078	20.7	185	17.2	55	5.1	218	20.2	259	24.0	361	33.5					
無回答	500	9.6															
最初の治療を受けて退院するまでに、生活上の留意点について医療スタッフから十分な情報を得ることができた															<.0001	0.01288	0.4406
そう思わない	98	1.9	19	19.4	11	11.2	19	19.4	19	19.4	30	30.6					
どちらともいえない	191	3.7	30	15.7	22	11.5	47	24.6	47	24.6	45	23.6					
ややそう思う	600	11.5	62	10.3	65	10.8	173	28.8	133	22.2	167	27.8					
ある程度そう思う	1408	27.1	188	13.4	133	9.5	383	27.2	338	24.0	366	26.0					
とてもそう思う	1287	24.8	229	17.8	86	6.7	287	22.3	306	23.8	379	29.5					
無回答	1614	31.1															
<受けた医療全般に対する評価>																	
あなたのがんに関して専門的な医療を受けられた															<.0001	0.02266	0.1179
そう思わない	58	1.1	7	12.1	5	8.6	14	24.1	10	17.2	22	37.9					
どちらともいえない	212	4.1	30	14.2	19	9.0	67	31.6	51	24.1	45	21.2					
ややそう思う	588	11.3	73	12.4	63	10.7	182	31.0	126	21.4	144	24.5					
ある程度そう思う	1779	34.2	255	14.3	175	9.8	480	27.0	461	25.9	408	22.9					
とてもそう思う	2128	40.9	407	19.1	146	6.9	460	21.6	495	23.3	620	29.1					
無回答	433	8.3															
これまで受けた治療に納得している															<.0001	-0.03611	0.0121
そう思わない	68	1.3	13	19.1	2	2.9	13	19.1	15	22.1	25	36.8					
どちらともいえない	215	4.1	23	10.7	19	8.8	64	29.8	45	20.9	64	29.8					
ややそう思う	622	12.0	69	11.1	64	10.3	186	29.9	142	22.8	161	25.9					
ある程度そう思う	1672	32.2	233	13.9	161	9.6	443	26.5	418	25.0	417	24.9					
とてもそう思う	2251	43.3	454	20.2	169	7.5	507	22.5	536	23.8	585	26.0					
無回答	370	7.1															
今回のがんの診断・治療全般の総合評価 (10点満点)															<.0001	-0.07623	<.0001
0-4点	173	3.3	20	11.6	13	7.5	44	25.4	40	23.1	56	32.4					
5,6点	545	10.5	74	13.6	50	9.2	138	25.3	125	22.9	158	29.0					
7,8点	1882	36.2	237	12.6	167	8.9	506	26.9	484	25.7	488	25.9					
9,10点	2457	47.3	515	21.0	212	8.6	570	23.2	565	23.0	595	24.2					
無回答	141	2.7															

1) Spearman's 相関係数

表4. 治療中の診療体験および医療関連サービスの認識と「家族に負担（迷惑）をかけた」に対して「とてもそう思う」の回答に関連する要因（多項ロジスティック回帰分析）

	推定値	95%信頼区間		p
<医療関連サービス・支援の認識>				
相談支援センターの認知	0.891	0.766	1.036	0.1337
相談支援センターの利用（知っている人のうち）	1.039	1.010	1.069	0.0076
相談支援センターの認知と利用状況	1.166	1.040	1.309	0.0087
ピアサポートの認知	0.938	0.805	1.094	0.4149
ピアサポートの利用（知っている人のうち）	1.036	0.975	1.102	0.2532
ピアサポートの認知と利用状況	1.075	0.936	1.234	0.3061
がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分ある	0.981	0.923	1.042	0.5272
<治療中の体験>				
治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた	1.006	0.938	1.080	0.8589
治療による副作用の予測などに関して見通しを持てた	0.953	0.895	1.015	0.1357
がん治療を進める上で、医療スタッフと十分な対話ができただ	1.041	0.975	1.112	0.2294
医療スタッフは、あなたの言葉に耳を傾け、理解しようとしてくれた	1.080	1.007	1.158	0.0301
治療におけるあなたの希望は尊重された	1.051	0.978	1.131	0.1756
つらい症状にはすみやかに対応してくれた	1.088	1.012	1.170	0.0222
あなたのことに関して治療に関係する医療スタッフ間で?分に情報が共有されていた	1.020	0.953	1.092	0.5721
主治医以外にも相談しやすい医療スタッフがいた	1.101	1.043	1.161	0.0005
最初の治療を受けて退院するまでに、生活上の留意点について医療スタッフから十分な情報を得ることができた	1.069	0.985	1.160	0.1094
<受けた医療全般に対する評価>				
あなたのがんに関して専門的な医療を受けられた	1.124	1.038	1.218	0.0042
これまで受けた治療に納得している	0.987	0.915	1.064	0.7284
今回のがんの診断・治療全般の総合評価（10点満点）	0.946	0.868	1.030	0.2027

注1) 「家族に負担（迷惑）をかけた」の回答のうち、「とてもそう思う」の回答をイベントとして扱っている。

注2) 性別、年齢、治療の種類、現在の治療の状況は調整済み